

三重大学腫瘍内科：学術研究に関するお知らせ

「甲状腺がんに対するレンパチニブ治療による有害事象の後方視的検討」 に関するお知らせ

このお知らせは、当科で治療を受けられた甲状腺癌の患者さんおよびご家族の方に向けてお送りしています。

このたび、当科で甲状腺癌にレンパチニブ（レンビマ[®]）療法を受けた患者さんを対象に、副作用やお薬の調整などについて後向きに検討する研究（観察研究）を計画しました。

研究の内容、方法について

日本では平成 27 年に甲状腺がんに対してレンパチニブが販売され、今後も使用する患者が増えていくと期待されます。しかし、日本人において日常臨床でレンパチニブを使った時の副作用の情報が少ないのが現状です。そこで、当科ではレンパチニブ（レンビマ[®]）を使った際の治療の安全性を確認するためにこの臨床研究を計画しました。

この研究は、平成 27 年 6 月から平成 29 年 1 月までにまでに当科でレンパチニブ療法を受けた患者さんの年齢副作用やお薬の調整などの情報を診療録から抽出するものです。この研究に関し、患者さんの費用負担、新たな採血検査などの負担は一切ありません。臨床研究は平成 29 年 12 月 31 日まで行う予定です。

この研究の内容および方法は、各施設の倫理委員会での厳正な審査の結果承認が得られ、実施について当学医学系研究科長の承認を得ています。患者さんの診療記録の使用にあたっては、患者さん及びご家族に診療上の不利益などが生じないよう、以下を厳守いたします。

- 医学研究以外には使用しません。
- 患者さんおよびご家族の氏名は公表しません。個人情報厳密に守秘します。
- 研究結果は学会、研究会、学術論文以外では発表しません。
- いつでも同意は撤回可能で、それによって患者さんに不利益を及ぼすことはありません。

この研究からわかったことを学会や論文で発表する予定ですが、診療記録をこの研究に使用してほしくないとお考えの患者さんやご家族の方は、下記の連絡先までご連絡をお願い申し上げます。

この研究責任者

三重大学医学部附属病院 がんセンター/腫瘍内科 石原幹也

住所 〒514-8507 三重県津市江戸橋 2-174

電話 059-231-5296 FAX 059-231-5348